

ASUMIN NOTE

[あすみんノート]

2019 Summer

No.

16

utilize local resources

Special Issue

これからの地域資源

Voice

雪田千春(特定非営利活動法人フードバンク福岡)

GOOD ACTIVITY FILES

NPO法人いるかねっと
特定非営利活動法人ペバ
もやいバンク福岡
NPO法人改革プロジェクト

KNOWLEDGE

仕組みからみる、日本の食品ロス

Asumin Information

Asumin Recommend

先輩NPOに聞いてみよう

Hondana!

持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン

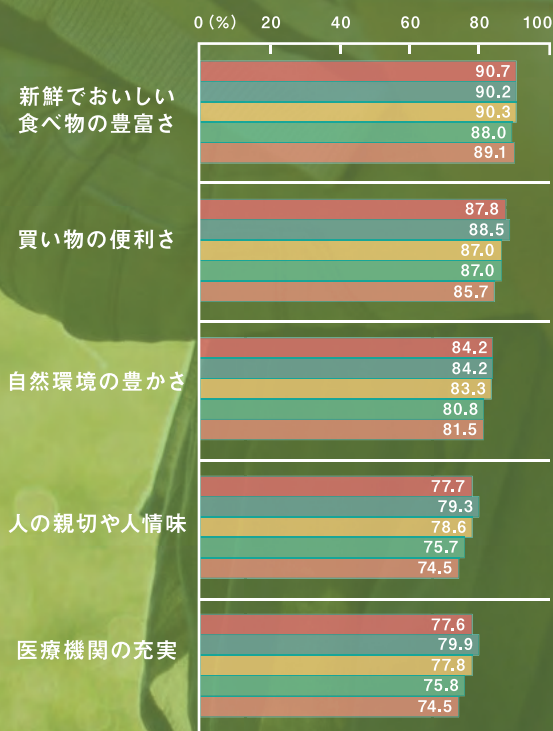
Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号655~670

これからの 地域資源

今回のissue(論点)は、暮らしの中の困りごと。豊かでくらしやすいと言われることも多い日本ですが、くらしやすさを追求する社会システムの中から、貧困問題や環境問題、地域の希薄化・孤独化といった社会問題が生まれています。その解決に向けて期待されているのが地域資源の循環です。“地域資源”とは、産業的な意味合いで使われることも多い言葉ですが、広くは地域にあるモノや人材、資金、情報などを指す言葉です。廃棄になるはずの食品を必要な方に届けるフードバンクや、地域住民が協力して地元の高齢者のために手助けするボランティアネットワークなど、すでにある資源を使って、身近で困っている人たちを助け合う取り組みは、福岡でも、多様な分野で広がりを見せています。ここでは、さまざまな地域資源を切り口に、自分たちが住むまちをより良くする仕組みについて考えてみます。

満足度ベスト5

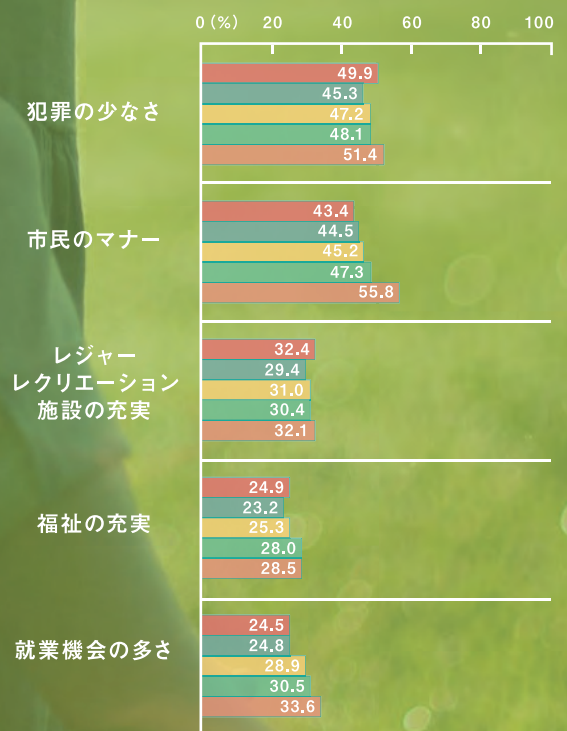


都市環境等の満足度

福岡市における5ヶ年度の推移



不満足度ワースト5



VOICE

ボイス

特定非営利活動法人フードバンク福岡

雪田 千春さん

Chiharu Yukita

活動の「きっかけ」は？

生まれは北海道ですが、高校からはずっと福岡。なので、青春は福岡です(笑)。若い頃から、福岡ってすごい人やアイデアがあっても、すぐに東京に出てしまう気がしていました。いいものが生まれる土壌はあるのに、根付かずにもったいないと。だから、いいものを持つて

る人の発掘とか、文化が根付くお手伝いとか、



そんな仕事ができればと思っていました。40歳を過ぎた頃、転職しなきゃいけないって、だけど就職先がないんです。「35歳の壁」って知ってます？ハローワークに出しても35歳未満しか採用してくれない。当時は、そんな買い手市場の時代でした。だから、自分で力をつけようと女性起業家セミナーを受けたり、企業やらNPO、ソーシャルビジネス、いろんなところに相談しました。そんな中、ある先生が「雪田さんは、自分の芯が揺らがなければ何をしてもいい」とおっしゃってくれて。その言葉をずっと覚えています。自分は何をすべきか、一つのことに関心があればと迷っていたので、「気持ちがあることは全部すればいい」と気が楽になったんです。それまでボランティアと企

今回のvoiceでは、食品を提供したい人と食品を必要としてい

業的な活動を分けていましたが、自分がやりたいことはなんでもやっちゃえと思うようになりました。企業とNPOの違いって、私は、NPO的な人は、細かい指示がなくとも自分で考えて行動してくれるところだと思います。あるイベントを任された時、人手が足りなければ率先して動いてくれるし、すごい提案もしてくれる。率先して「自分ごと」として参画する意識がすごいなと思いました。

フードバンク活動とは？

日本国内には、年間で大体650万トンほどの未使用可食部の食品があります。これは、フードロスと呼ばれるもので、売れ残りや食べ残し、販売期限切れ食品など、本来は食べることができたはずの食品が廃棄されることを指します。その原因はいろいろとあって、生産や加工、小売、消費など各段階で発生します。例えば、工場ですりつぶしたカレーを製造しようとする、最低ロット数が決まっています。最低ロットが2000袋だとしたら、本当は500袋しか必要なくても、500袋だけ作る



ということはできません。その結果、1500袋ものロスが生まれることとなります。また、消費者側の購買意欲にも問題があります。新しい商品を提供しないと、飽きられて売り上げのダウンにもつながるので、例えば賞味期限が2年残っていたとしても、入れ替えは絶えず行われます。開発競争を続けないと店頭の商品棚も失ってしまうので、メーカーは必死です。季節柄のパッケージングや3分の1ルール(※)など、改善する方法もあると思いますが、流通が大事な現代社会では諸刃の剣だったりします。

ですから、必要以上にものを欲しがらないとか、大事に最後まで使うとか、食べきるとか。そういう風に私たちの意識が変わらないと、過剰生産は続くでしょう。もちろん「作らなきゃいい」という発生抑制に取り組む団体もいますし、そちらに振り切ると環境団体のミッションになりそうですが、フードバンクは、品質に問題がないにも関わらず市場で流通できなくなった食品を無償で集め、必要とする方に配ることを役割としています。つまり、入口はフードロス削減を目指す環境問題ですが、出口は困っている方々

※KNOWLEDGE(右ページ)にて説明

GOOD ACTIVITY FILES

グッド・アクティビティ

25 「助け合い」の輪を広げる

NPO法人いるかねっと

「本当に困った人々のために活動する」をミッションにし、塾に行けない子どもたちへの福岡市全域における計23か所での学習支援、子ども食堂、高齢者向けワンコインサービス、サロン、食品輸送、災害時の物資輸送などのすべてのサービスを、ボランティアさんと共にすべての方が利用できるように無料、または、100円で実施しています。平成30年度は、受益者、ボランティア合わせ計10,000人の人々がいるかねっとの活動に参加しました。



26 小さな循環で新聞紙を資源化する

特定非営利活動法人ペパ

小さな紙の循環を目指して読み終えた新聞紙を回収し、30kgにつき地域通貨である“30ペパ紙幣(80円相当)”と交換する「資源銀行」を運用しています。交換したペパは、地下鉄やバスなどの割引券としても使用でき、リサイクル促進だけでなく、交通機関の利用による環境負荷軽減にもつなげています。一方で、集まった新聞紙は、ペパ鉛筆・ペパバッグといった製品に作り替えた後、インターネットなどを通じて販売。作り方の講習会も開催し、「紙」の大切さを伝えています。



いる人をつなぐ「特定非営利活動法人フードバンク福岡」の雪田千春さんにお話をうかがいました。

に食品を届ける社会福祉の問題なんです。いろんな課題が同時に解決できる活動とも言えます。とくに福岡は、ありがたいことに行政や企業も加わって食品を集めるための協力体制ができつつあるので、団体としては頂いたものを確実に届けることに集中できそうです。

集めるだけではないんですね

全国の団体で多少の差異はあるかもしれませんが、どこの団体も「必要としている方にいかに届けるか」を重視していると思います。福岡には、生きづらさを抱えた人たちを支援するNPOや施設がたくさんあります。しかし、法律の制限などで食べ物の支援は難しいというケースも多い。そこに私たちが食品を提供することで、包括的支援ができるようになります。取引を始める際は、食品をどんな目的で使うのかをヒアリングしますが、こちらから食品を提供する基準は、必ずしも設定していません。これは、受け入れ先となる団体の社会課題へのアプローチを尊重しようという考え方です。ですから、子ども食堂や無料学習塾をやっているところもあるし、障がい者とか老人福祉施設の人もいます。最初はどこ

までニーズがあるのかわからなかったのですが、始めてみたら急激に増え続け、今ではいくら食品があっても足りない状態、合意書を結んでいる団体は100団体ほどになりました。ですが、全国の約77のフードバンク(2017年度)活動を合わせても、取り扱っている量は年間の未使用可食部(約650万トン)のうち、わずか0.06%(約4千トン:2015年)にすぎません。まだまだ、ほとんどが捨てられているのが現実なんです。



受け取る人にもいろんな背景があるんですね

提供先の団体に、食品を何に使うのかを聞くと、いろんな事情や社会課題があつてびっくりします。とくに「子どもの食」に関しては、自団体の活動として「子どもの未来応援ネットワーク事業」に力を入れています。「ハッピーバナナプロジェクト」と言って、小・中学校の朝食をサポートする取り組みです。朝ごはんを食べない習慣の子が増えている、お茶の一杯も飲まずに学校に来る子もいます。学校側では、朝食サポートという言い方が「貧

困」をイメージさせるかもしれない、「パワーモーニング」など、呼び名を工夫するところもあります。きちんと親がごはんを作る家庭から見ると、家にごはんがないことの意味がよく分からないんです。逆も然りで、例えば小学1年生の子が「適当にやっついて」とお金だけ置かれたりしても、どうしていいか分からない。大人なら「適当」の意味もわかるけど、子どもには無理です。だから、お金を持ってコンビニ行って、自分の好きなお菓子を食べてお腹を満たしたりします。

結局、ご自身の芯ってどこにありましたか？

芯は「人権」みたいです。なんでこんなに気になるんだろうと自分でもびっくりしました。とくに、ものと言えない子どもたちを無視するような社会の仕組みには、深い憤りを感じます。小学校2年生の子に「食べることに興味がない」って言われて、この子は生きることに興味がないのだろうかと言っていました。その子が求めているのは、お金じゃないんです。お父さんお母さんと一緒に過ごす時間なんです。よく話題になる「子どもの

貧困」って、実はこういうことだって、その時はじめて気づかされました。もっとちゃんと、一人一人の困っていることに、目だけじゃなく身体を向けて見て欲しい。何をどう困っているのか、大人が考えて欲しいです。

フードバンクのこれからは

団体としては、人を育てていきたいですね。フードバンクの活動って他のNPOと違い、NPOの感覚や人を思いやる気持ちを持ちながら、流通や商売のセンスも併せ持つ社会とのバランス感覚も求められるので、少しずつでも育てていきたいと思っています。だけどおそらく、テクニックの部分は後からついてくるはず。何よりも、高い倫理観を持ちながら、心のある活動をずっと続けることが大事だなと思っています。

特定非営利活動法人 フードバンク福岡

食のセーフティネットを支える仕組みづくりをはじめ、食の地産地消が地域に根差し、食品がムダなく活用され、誰もが新鮮で安全な食品を分かち合える豊かな社会づくりを目指しています。

<https://www.fbfukuoka.net>

イ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

27 市民のお金は 地域のしあわせのために

もやいバンク福岡

「社会に役立つ事業をサポートしたい」という市民が出資し、NPOや個人の活動に無担保・低金利で融資する西日本唯一のNPOバンクです。これまでに融資した数は、2019年3月時点で33件。商品開発から団体運営費などその用途はさまざまです。融資事業だけではなく、融資先と出資者の交流会や見学会を開催することで、お互いの顔が見える関係を築いています。お金が地域をめぐり人と人をつなぐことで、生き活きた地域社会を支える仕組みとなることを目指しています。



28 ランニングを通じ、 犯罪のない世の中を目指す

NPO法人改革プロジェクト

「公園を走っているランナーが街中を走ったら、犯罪の抑制につながるのではないか」という発想から、街を走ってパトロールする「パトラン(パトロールランニング)」をおこなっています。たった5人から始まったこの活動は、現在では日本各地に広まり、海を越えた中国・カナダにも広がっています。また、ランニング以外にも、防犯啓発活動や地域の美化活動を実施。地域にある目に見えない危険をなくし、住民が安心して暮らせるように日々活動しています。



仕組みから見る、日本の食品ロス

食品ロス(フードロス)とは

「食べられるのに捨てられる食品」のこと

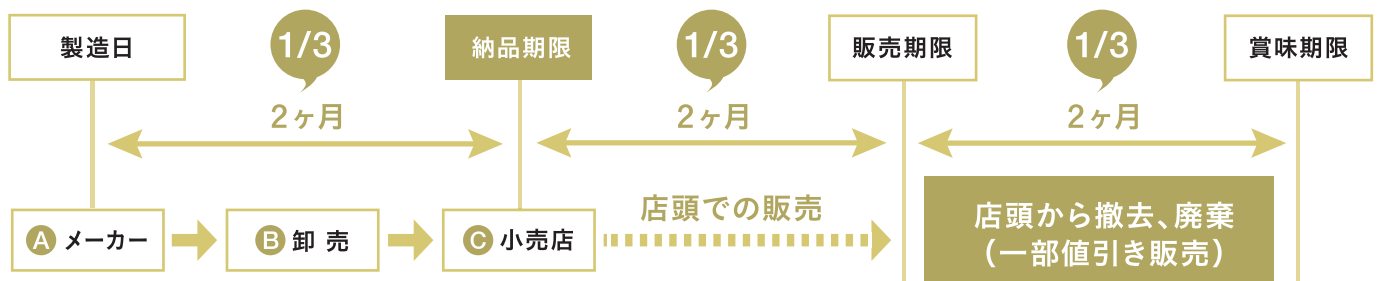
本来はまだ食べることができるのに、さまざまな理由で捨てられる食品を食品ロス(フードロス)といいます。日本の食品ロス量は、643万トン(平成28年度推計)。国民一人当たりで換算すると、お茶碗約1杯分の食品が毎日廃棄されています。その内訳は、流通・製造の過程で発生する事業系由来の廃棄量で352万トン、家庭ゴミから出る家庭系由来の廃棄量で291万トンとなり、食品ロスの約半分は家庭から出ていることになります。事業者と消費者どちらかだけの努力ではなく、双方で取り組むべき課題なのです。



「3分の1ルール」という商慣習

事業系の食品ロスとしての要因の1つが「3分の1ルール」です。C小売店などが設定するAメーカーの納品期限および店頭での販売期限は、製造日から賞味期限までの期間をおおむね3等分して設定されます。消費者に新鮮な食品を届けるために、商取引上の習慣として行われていましたが、各期間内に届かない場合には廃棄となることから、ルールの緩和が検討されています。

賞味期限が6ヶ月の場合



「賞味期限」と「消費期限」の理解

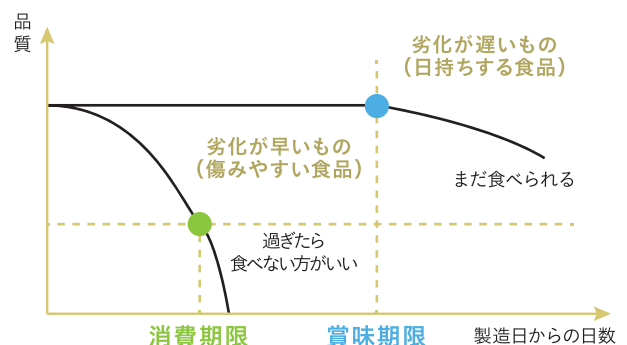
家庭系由来の要因として多いのは、「期限を超えた食品の廃棄」です。すべての加工食品(一部の製品を除き)には、製品の特性に応じて、「賞味期限」か「消費期限」のどちらかが表示されています。この違いを正しく理解し、目的にあった商品を購入することで食品ロスを防ぐという取組みが各地で行われています。

賞味期限 (best-before)

決められた方法で食品を保存した場合に、全ての品質が保たれ、おいしく食べることができる期限のこと。劣化が比較的緩やかなスナック菓子、即席めん類、缶詰などが対象になります。ただし、期限を超えた場合でも、品質が保持されていることがあるため、個別に判断する必要があります。

消費期限 (use-by date)

決められた方法で食品を保存した場合に、腐敗、変敗、その他の品質劣化に伴い安全性を欠くおそれがないと認められる期限のこと。品質の劣化が急速に進む弁当、サンドイッチ、惣菜などが対象になります。期限が過ぎる前に食べきる必要があります。



あすみんのオススメ

Asumin Recommend

先輩NPOに聞いてみよう

あすみんでは、経験豊富でさまざまなスキルをもつNPO(先輩NPO)から、トークセッションを通して活動の楽しさや難しさを教わる交流会「先輩NPOに聞いてみよう」を開催します。「NPOに興味はあるけど、実際にやってるのはどんな人?」「なにがきっかけで始めたの?」そんな疑問を、気楽なトークでシェアしましょう。トークの後はフリー交流タイムもあります。ぜひお気軽にお越しください。



日時: **7月12日(金) 19:00~21:00**

先輩NPO: 認定特定非営利活動法人ソルト・バヤタス
理事・事務局長 **井上広之 氏**

ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

持続可能な地域のつくり方

未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン



ISBN13:978-4-86276-251-1
定価:2,592円(2,400円+税)
判型:A5変形判 並製
ページ数:424

SDGsは、世界が目指すべきゴールとして注目を集める持続可能な開発目標です。本書では、SDGsの背景にある考え方をベースに、行政と企業、そして住民が一体となって地域を着実に変えるための方法を知識編と実践編の2つのパートで解説しています。長期的な視野に立った住民主体の地域づくりを学ぶことができます。新たな一歩を踏み出し、地域を変えてみたい方は必見の一冊です。

【著者】寛裕介
【発行】英治出版株式会社
【発行年】2019年

登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号655~670)

- NPO法人日中ユネスコ協会
- チベット・ノマド子ども支援の会
- 特定非営利活動法人福岡終活・相続支援センター みらいあん
- FIC(福岡産業カウンセラーの会)
- JSCO(学習サポートの会)
- 認定NPO法人日本ハビタット協会 福岡支部
- フリースペース YURUYURU
- 経済勉強会 Best Club
- NPO多文化共生プロジェクト
- ジンバブエ・福岡異文化交流支援の会
- ライフキャリア・サポート キャリアの木
- 特定非営利活動法人YNF
- コネクション・プラクティス福岡
- NPO法人足もと健康サポートねっと
- 福岡トルコ友好協会
- NPO法人はるよし

重要 登録番号 0001 ~ 0658 の方
団体登録更新のお願い

登録番号が【0001~0658】の団体は、現在更新期間中です。引き続き、あすみんをご利用になるには、期間中に手続きが必要となります。

●更新期間 **6月1日~8月31日**

更新に必要な書類は窓口へお問い合わせください

利用団体登録について

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。**登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)、(8)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

登録に必要な書類

- (1)福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2)団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3)活動計画書
- (4)これまでの活動実績がわかる資料
- (5)役員名簿
- (6)自己チェックシート
- (7)印鑑
- (8)申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】https://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



HP



facebook



あすみん(天神CLASS 4F)
1Fが「SONY STORE」のビルです



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ●西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分